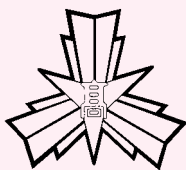


富山県立南砺福光高等学校 地域との連携を大切に



本校は昭和33年に富山県立福野高等学校福光分校として創立され、昭和35年には地元福光の強い要望と支援により、福光高等学校として独立しました。それ以降、地域や時代の要請に応え、普通科、家政科（家庭科）、産業科、商業科（国際経済科）、機械科、国際科という学科を開設し、地域の高校としての使命を果たしてきました。校名も南砺総合高等学校福光高等学校、さらに南砺福光高等学校へと改称されました。これまでに1万2千名を超える卒業生を輩出し、多くの同窓生が各界で活躍しています。本校は地域に学び、地域を誇りとできるような真の国際人を育成することを目標に、地域と連携し、探究活動やボランティア活動を推進してきました。また、中国の稽山中学やオーストラリアのバックリーパークカレッジとの相互交流等、国際理解教育にも力を注いできました。令和2年度から再編統合が始まり、本校の歴史と良き伝統は、新高校である南砺福野高等学校に受け継がれることとなります。

長い歴史に幕・統合 新たに義務教育学校「南砺つばき学舎」に

南砺市立井口小学校



思いをカタチに

本校は、「第六大学区第十三中学区第四十九番小学区井口小学校」として、明治6年12月11日に光徳寺を仮校舎に創立し、147年もの長きにわたって学びの道をつなぎ、今日に至ります。校歌にある「敬止」（学ぶ者は風格があり、光り輝いており、いつも徳風を慕う）の思いが脈々と継承され、「優しい心」「強い心」「感謝の心」が地域に息づいています。また、平成2年度に学校給食優良校、令和元年度に子供の読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰をいただいたことは本校の誇りです。

これまで、縦割り班による「あかそぶ」活動や椿栽培等、小規模校のよさや地域の教育力を生かし、みんなの「思いをカタチに」することを根幹にした学校づくりに努めてきました。引き続き、ハワイや北アイルランドの現地の子供たちとの外国語による交流学習、一人一人の興味・関心を基に学びを進める「自学の時間」等、南砺つばき学舎の特色を打ち出しながら新たな歴史を刻んでいきます。

南砺市立井口中学校



地域と共に

本校は、昭和29年に正式に井口村立井口中学校として誕生してから66年、「教育の村、井口」の根幹である「子供は家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く」の言葉どおり、学校、家庭、地域が一体となって子供の教育に尽力してきました。「村に学校を！」という学校存続の願いは、今も昔も同じです。その魂が脈々と受け継がれ、令和3年4月、本校は南砺市初の義務教育学校「南砺つばき学舎」として、新しくスタートします。一人一人を大切にしたい学習指導、地域の指導者に支えられた部活動、地域と共に行う「椿まつり」やボランティア活動等、その一つ一つが生徒を成長させています。特にソフトテニス部やバドミントン部の全国大会出場、作文や俳句等の文芸作品の数々の全国入賞は、自己研鑽の表れであり、生徒たちの励みとなっています。これからも自他共に高め合い、心身ともに豊かな人を育てる学校でありたいと思います。